Engineer プラットフォーム

コンテナ（Docker/Kubernetes）

6 件の実績

システムの各部分を結び付ける

「コンテナ（Docker/Kubernetes）」に分類した実績は、稼働するシステムの一部分を示しています。その部分を他の業務につなげるお手伝いをします。 変更を検証し、リリースし、元に戻せる仕組みを整え、金曜の深夜ではなく火曜の午後にお客様へ届けられるようにします。

サービスを見る お問い合わせ →

比較できる課題を探す

ご自身の状況に近い事例をご覧ください。振り返りでは、技術名だけでは分からない、結果を導いた判断を説明しています。 GitHub ActionsでGIS SaaSのデプロイを自動化 — デプロイ、データ、報告を手作業から解放

GitHub ActionsでGIS SaaSのデプロイを自動化 お問い合わせ →

社内初のオブザーバビリティダッシュボードを構築

社内初のオブザーバビリティダッシュボードを開発・公開し、オフィスの大型テレビでシステム性能とデータをリアルタイムに把握できるようにした。

Google Cloud・AWSでDockerアプリ20個を運用

Dockerでコンテナ化した20個のアプリケーションをデプロイ・保守。PodmanとKubernetesで問題を調査し、Google Cloud・AWS上のRアプリケーションも管理した。

Dockerアプリ100個のSSL/TLS証明書を自動化

Dockerアプリケーション100個のSSL/TLS証明書の作成を自動化し、Ubuntu Linuxホスト上での安全な接続を確保した。

GitHub Actions CI/CDパイプラインを構築

本番フロントエンド用のdistrolessイメージと複数環境間の昇格を備えた、GitHub ActionsのCI/CDパイプラインを構築した。

全ユニットのsystemdサンドボックス露出を低減

この基盤が導入するすべてのユニットのsystemdサンドボックスの露出度を低減。デッドマンズスイッチのサービスを9.6 UNSAFEから1.5へ、インターネット公開のgitホスティングを8.3 EXPOSEDから1.5へ改善し、3つのユニットテンプレートで黙って無視されていた設定名の誤記を受け、収束時の構文検査を加えた。

PodmanとQuadletでコンテナを運用

Dockerの既定のブリッジネットワークでのポート公開がUFWルールを迂回する場合があるため、systemd配下のPodman・Quadletでコンテナ基盤を構築。デプロイにはrootではなく、固定コマンド1つを使う非特権ユーザーを用いた。

技術的な取り組みを絞り込む

デプロイの流れ、運用上のリスク、緊急対応の担当者をお知らせください。検査、復旧手段、明確な責任の所在を伴う変更の範囲を定められます。

料金を見る お問い合わせ →

自社の状況に当てはめる

お使いのシステムで「コンテナ（Docker/Kubernetes）」がどのように関わっているかをお聞かせください。適したサービスを選び、その業務範囲を定めるお手伝いをします。

サービスを見る

welcome@engineer.company +45 50 10 61 84 デンマーク、コペンハーゲン

このページを持ち歩く 連絡先カード

心を込めて丁寧に制作： D.

CVR 45969703 · Tagensvej 105C, 3. th, 2200 København N

著作権 © 2025 – 現在 · Engineer ApS · すべての権利を留保します。

印刷元： https://platform.engineer.company/ja/categories/containers/